



公益社団法人新潟県農林公社だより

アグフオレター

Vol. 4



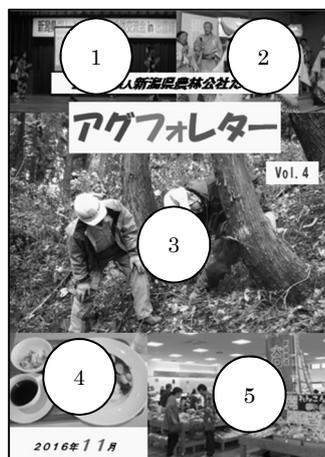
2016年11月

目 次

農地中間管理事業も3年目を迎え連携強化 (農地中間管理事業)	P 2
農産物直売所「ただいまーと」が好調 (6次産業化サポートセンター事業)	P 3
新規就農・就業チャレンジフェアを開催 (にいがたグリーンワークセンター)	P 4
森の仕事体験ツアーWOOD JOB!を開催 (にいがたグリーンワークセンター・林業労働力確保推進事業)	P 4
「新潟県グリーン・ツーリズム全体交流会 in 出雲崎」開催 (グリーン・ツーリズムセンター事業)	P 5
公社造林地でクマ剥ぎ対策の体験研修を開催 (分収林整備事業)	P 6

vol. 4 の表紙写真

- ①②グリーン・ツーリズム全体交流会
- ③フォレストワーカー育成研修
- ④ただいまーと内、地元豆腐店が出店している
イートインコーナーのランチ
- ⑤ただいまーと店内



農地中間管理事業も3年目を迎え連携強化

農地中間管理事業がスタートして3年目を迎え周知も進みましたが、取組に対する地域差も見られています。これらの状況を踏まえ、担い手への農地利用の集積・集約化を加速させるため、次の重点事項を関係機関・団体と連携を強化して取組を進めています。

< H28 計画 >

借入		貸付	
件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
7,800	6,000	3,900	6,000

< 重点推進事項 >

- ① 農地中間管理事業のPR及び取組成果の波及
- ② 関係機関・団体との連携の強化による業務推進
- ③ 農用地等の利用条件改善業務の実施

計画を達成するための具体的な取組として、業務委託先との連携を進めるための研修会を5月19日に開催し、8月2日～5日には新発田、新潟、長岡、上越、南魚沼の5会場でブロック別検討会を開催しました。

さらに、農業委員会研修会にも上越・中越・下越の3会場に参加し、農地利用最適化推進委員との連携の強化をお願いしました。



また、前年度からの課題となっていた受け手のいない農地の対応については、県担い手育成支援協議会のホームページにアップして担い手を探す取組である「見える化事業」の運用を9月1日から開始しました。中山間地等からの要望が多い物納については29年産からの導入に向け南魚沼市で試行を開始したところです。一部地域から要望の強かった手数料については、平成29年度から減額する方向で検討を行っています。

平成27年度の実績は前年度の倍以上となる4,000haを超える貸借の実績を上げたところですが、目標である6,000haの約7割に止まったことから、本年度は目標達成に向け一層の取組強化を図ってまいります。

6次産業化サポートセンター事業

農産物直売所「ただいまーと」が好調

7月29日、三条市福島新田にJAにいがた南蒲の農産物直売所「ただいまーと」がオープンしました。



協力企業や組織女性メンバーで構成したプロジェクトチーム「なんかん*ママシェルジュ」を立ち上げ、「女性に嬉しい直売所」をコンセプトとして利用者目線で考えられた店作りを行っています。

「直売所に来ると主婦力アップ」を掲げ、核家族化が進み食育を行える機会が少なくなってきた現代の家庭環境でおばあちゃんやお母さんの代わりに食に関する情報を提供する場所とすることで、ファミリー層を取り込んでいこうと考えています。

出荷者は農家に限らず、地元企業も出店しており、売り場は肉や惣菜等バリエーションに富んでいます。また、農産物と一緒にその食材を扱う料理に使用する一般食品が並べられており、ワンストップショッピングができるようになっています。



様々な商品が並ぶ売り場



かわいらしく仕上げられたPOPも見どころ

当会社ではオープンに際し、出荷者や職員を対象に誤った食品表示による事故防止や食品表示の理解を深めることを目的として6次産業化プランナーを派遣し実践指導を実施しました。加工食品を中心とした食品表示の説明を行ったほか、加工センターで作っている商品の食品表示ラベルを一つ一つ見ながらの指導や商品を宣伝するためのPOP表記についても指導を行いました。

今後も農家経営体及び地域ぐるみの6次産業化の取り組みの支援を行っていきます。



落ち着いた雰囲気の店内

新規就農・就業チャレンジフェアを開催

農林業への就農・就業希望者に関連情報や就業機会を提供することを目的として、8月6日に新潟市で新規就農・就業チャレンジフェアを開催しました。

当日は、農業生産法人や林業事業体など8法人と就業希望者38人が参加し、経営者などからは会社の経営理念や経営の特徴、将来ビジョンなどを熱く語りかけ、参加者は熱心に聞き入っていました。その後、個別相談などで詳しく情報交換をしました。



森の仕事体験ツアーWOOD JOB!を開催（林業労働力確保推進事業）

「青少年・林業体験塾」を8月18～19日、1泊2日の合宿形式で開催しました。森林・林業に触れる機会の少ない青少年を対象に、基礎知識や林業現場の見聞等、自らの体験活動を通じて林業の大切さや魅力を感じてもらい、林業への興味を喚起し新規就業への促進を図るため実施したものです。15名（女性3名、男性12名）が参加、体験ツアーの実施は好評でした。



参加者からは「林業にはマイナスイメージを持っていたが、枝打ち、除伐体験をして考えが大きく変わった。自然を身近に感じながら体を動かして仕事をするっていいな。愛情込めて育てた木が立派な木になったら嬉しいだろうなと思った。他の高校生、大学生にも体験して欲しい。絶対にイメージが変わるはず！変わります！」との感想が寄せられました。

「新潟県グリーン・ツーリズム全体交流会 in 出雲崎」開催

10月19～20日に出雲崎町を会場に全体交流会を開催し、県内各地より100名の方に参加頂きました。この大会は県内各地のグリーン・ツーリズム関係者の相互交流とグリーン・ツーリズムの更なる発展を図り、交流の中で出雲崎町の魅力を再発見することを目的として行われました。

1日目の「地域の魅力の情報発信」をテーマとしたパネルディスカッションでは、吉本興業“農業で住みます芸人”のチカコホンマさんからSNSを使った若い世代へ向けた情報発信の方法が紹介されたほか、首都圏でのイベントへの参加や雪を使った方法等、経験に基づく有効な方法が紹介され、様々な形での情報発信の仕方について語っていただきました。



パネルディスカッションの様子



体験ツアーの様子

2日目には地域資源を活かした体験ツアーが実施され、参加者は出雲崎の歴史・文化・食を存分に満喫しました。

参加者からは「2日間を通して交流することにより様々な情報を得ることができた。今後の活動につなげたい」という意見を頂きました。

また、開催地である出雲崎町議会議員の方々には大変尽力頂き、グリーン・ツーリズムで町を活性化させたいという意気込みが伝わりました。会を終えてNPO法人自然体験学校理事長の若林さんから「充実した体験や受け入れの環境が整っており、いつ受け入れを始めてもいいのでは」との感想を頂き、地域の方々は受け入れに自信をもたれたようでした。

公社造林地でクマ剥ぎ対策の体験研修を開催

平成 27 年度に締結した「阿賀地域民国連携森林整備推進協定」による活動の一環として、阿賀町中ノ沢地区にて 10 月 15 日(土)に「熊の皮剥ぎ被害に係る研修会」を開催しました。

新潟大学農学部 箕口秀夫教授から熊の習性と皮剥ぎ被害の現状について講義していただき、クマ剥ぎ被害の発生要因から対策方法について学ぶことができました。

受講した地元の森林所有者から挙げたクマ剥ぎ対策に関する疑問にも丁寧に答えていただき、問題解決に向けた有意義な講義になりました。



新潟大学 箕口教授



下越森林管理署 石田森林技術指導官(中央)

講義終了後は公社中之沢団地に移動し、石田健下越森林管理署森林技術指導官からテープを使ったクマ剥ぎ防止対策を指導いただき、実際に研修生も木にテープや綿ロープを使ってクマ剥ぎ防止作業を体験しました。

研修生たちは、大きく育ったスギを選びながら、丁寧に作業に取り組んでいました。

県内において下越地域を中心にクマ剥ぎが発生しており、間伐により中間収入を得られる時期にきている中で被害を未然に防止するために、県や市町村、事業者とともに対策を進めていきます。



岡村代表理事もクマ剥ぎ防止作業を体験しました



昨年リニューアルしたポータルサイトでは、イベントや事業の開催など、公社の最新の情報を掲載しています。

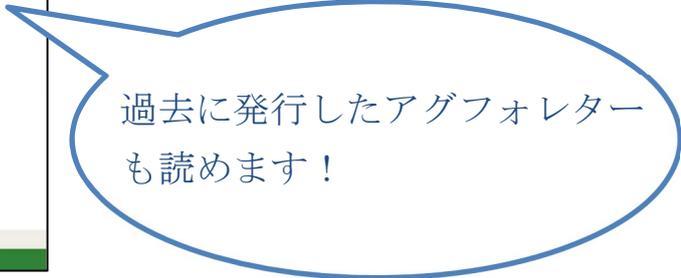
まだご覧になっていない方はぜひアクセスしてみてください！

ポータルサイトのアドレスはこちら↓

<http://www.niigata-nourin.jp/>

または

「新潟県農林公社」で 



アグフォレターを読んだ感想をお寄せください

「公益社団法人 新潟県農林公社だより アグフォレター」を読んだ感想・ご意見・ご要望などがありましたら、公社までお寄せください。

お寄せいただいた内容は、今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

連絡先

Eメール：rinsei@niigata-nourin.jp

FAX：025-285-5070

郵便：〒950-0965 新潟市中央区新光町15番地2 公益社団法人新潟県農林公社

広報企画委員会 山本 宛て

事業目的：新潟県農林業の振興

経営理念：未来志向による支援事業の推進

公益社団法人 新潟県農林公社

郵便番号：950-0965

住所：新潟市中央区新光町15番地2

電話：025-285-7711

FAX：025-285-5070